

Ⅲ. 自由記述のまとめ

Ⅲ-1. 総括

自由記述については、かなり多くの方が回答を寄せており、のべ 12,000 件の記入があった。回答の傾向は、コース・科目・メディア等によって若干ニュアンスが異なっている。これらの自由記述における意見を詳細に読み込むことで、さまざまな情報を得ることができるが、そのすべてをここに列記することは現実的な方法とはいえない。個々の回答は、全ての回答の原文を主任講師に提供しているため、それを査読していただくとして、ここではさらに学生の意見の全体像を俯瞰するために、前年度に倣い、自由記述に記入された意見を傾向ごとに分類・集約した。集約方法は、コース（プログラム）ごとに、その科目を受講して①「よかった点」及び②「気になった点」を、その意見内容の傾向によって分類整理し、さらにそこから「改善点の提案」を抽出した。

まず学部全体を集約すると、「よかった点」としては、

- ・ 勉強になった、役にたった
- ・ 知識の整理・拡大・深耕に役立った
- ・ 科目の内容がよかった、わかりやすかった
- ・ 今後の人生や仕事・学習に役立つ
- ・ 今まで知らなかった知識が身に付いた、増えた
- ・ 基礎的な知識が得られた
- ・ 視野が広がった、視点・考え方が変わった
- ・ 興味が持てた、関心が持てた

等といった意見が多く見られた。

全体的に要約すれば、

- ・「教養としての深まり」
- ・「知的好奇心の喚起・高まり」
- ・「実生活への反映」

の3つが高評価の要因となっている。

その他、放送授業のよかった点としては、

- ・「講師の指導がよかった」
- ・「授業内容がよかった、わかりやすかった」
- ・「楽しく受講できた、面白かった、好感が持てた」
- ・「映像・テレビでよかった」等の意見が多い。

印刷教材については

- ・「内容がよかった、理解しやすかった」

- ・「図表や写真・資料等があり理解しやすかった」
 - ・「引用・参考文献、練習問題がありよかった」
- 等の意見が多い。

一方、科目内容で「気になった点」としては、「よかった点」の裏返しで

- ・ 難しかった、高度すぎた、理解できなかった
- ・ もっと詳しい説明・解説をして欲しい
- ・ 分かりにくかった、説明・解説が不十分だった
- ・ 放送授業と印刷教材の内容が異なった
- ・ 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- ・ 具体例・事例・実践的な内容を増やして欲しい
- ・ 上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- ・ 内容が浅かった、もっと詳しい内容にしてほしい

等、難易度、内容や説明の不足、内容の広さ、具体例・事例不足に関する不満が多かった。

放送授業で気になった点では、

- ・ 構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった
- ・ テレビ科目にして欲しい（ラジオでの講義では理解できない）
- ・ 内容が理解しにくかった、解説が不十分だった
- ・ 印刷教材を読むだけの授業では放送授業の意味がない
- ・ 講師の話し方・発音がよくなかった
- ・ 難しかった、理解できなかった
- ・ 講義のテンポがよくなかった（早くて聞き取れない）
- ・ 専門用語がわからない

印刷教材で気になった点は、

- ・ 図表・写真・イラストを増やして欲しい
- ・ 放送授業の参考資料や板書・データ・頁を載せてほしい
- ・ 構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった
- ・ 内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった
- ・ 文字・図・表・写真が小さかったり、印刷がモノクロで分かりにくかった
- ・ 問題の解答・解答例・解説がほしい
- ・ 重要な部分がわかるようにしてほしい。
- ・ DVDやCDにしてほしい

等が多く見られた。

通信指導や試験については

- ・ 面接授業を増やしてほしい

- ・添削や質問にきめ細かく対応してほしい
- ・試験が難しすぎる（易しすぎる）
- ・出題は印刷教材から出してほしい

ポイントは「興味を持てる内容を、分かりやすく、おもしろく講義して、適切な試験でスムーズに単位が取得できるようにしてほしい」ということになる。

しかし、これは全体的に見た内容であり、さらに個々の科目ごとに見て行くと、それぞれの特徴が出てくる。それらを分析し、今後、そのカリキュラム編成や見直し、科目に合ったレベルや授業方法の改善に結びつけていきたい。

次に、大学院の集約した結果を見ると、よかった点としては、

- ・勉強になった、役にたった
- ・今後の人生や仕事・学習に役立つ
- ・内容がよかった、わかりやすかった
- ・知識の整理・深耕に役立った
- ・今まで知らなかった知識が身に付いた、増えた
- ・視野が広がった、視点・考え方が変わった

等が多い。

一方、科目内容で気になった点としては、

- ・もっと詳しい説明・解説をして欲しい
- ・分かりにくかった、説明・解説が不十分だった
- ・具体例・事例・実践的な内容を増やして欲しい
- ・難しかった、高度すぎた、理解できなかった
- ・上級または関連する科目・基礎科目を開設してほしい

また、放送授業で気になった点は、

- ・テレビ科目にして欲しい
- ・印刷教材を読むだけの授業はやめて欲しい
- ・内容が理解しにくかった、解説が不十分だった
- ・構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった

さらに印刷教材で気になった点は、

- ・図表・写真・イラストを増やして欲しい
- ・構成・内容がよくなかった、興味が持てなかった
- ・内容が理解しにくかった、見にくかった、解説が不十分だった
- ・放送授業の参考資料や板書・データ・頁を載せてほしい

等が多く見られた。

全体の傾向としては、学部と同じような意見が多くなっているが、基本的に大学院で学ぶ人は意欲も高いのか、「気になった点」と回答した人の比率は、学部には比べ少ないよ

うである。しかし、プログラムや科目による差は見られるので、やはり科目ごとの検討が必要である。

基礎科目から大学院までを全体的にみると、いわゆる実学系と文学・アート・思想系では「良かった点、気になる点」の傾向に若干の差異が感じられる。

実学系では「実際に利するかどうか」が問われ、文学・アート・思想系では「面白く学べるかどうか」が問われているようである。